

なお、登載しなかった事業として次のものがあります。

○「川崎市における光化学スモッグ対策のための調査研究」

委託先 関東光化学スモッグ研究会 主任研究者 加藤竜夫

担当課 研究調査課

○「川崎市における自動車走行状態調査」

委託先 早稲田大学理工学研究所 主任研究者 斉藤 孟

担当課 研究調査課

事業名 川崎市の用途地域別環境騒音調査

調査内容 昭和46年5月に騒音に係る環境基準が閣議決定され同基準を達成させるため各種の騒音防止対策をおしすすめることになった。本市において今後の対策を検討するにあたり、市内全域の環境騒音を把握するため、用途地域別にしかもその地区を代表すると思われる34ヶ所を選定して同一時期に連続24時間測定をおこない国の環境基準と比較した。

担当課 騒音振動課

事業名 製缶板金工場の騒音について

調査内容 製缶板金作業を行う工場は中小規模の施設がほとんどであり、敷地面積も狭く建物を騒音対策の面から見ると粗雑で問題点が多い。加えて工場内での発生音は騒音レベルも高く衝撃性のものが多く対策が困難である。このため発生音の性状解析、及び遮音等の防止方法を検討し、この種の問題解決の基礎資料を得るため川崎市内で製缶板金作業を行っている26工場を選定して調査を行った。

担当課 騒音振動課